

# 地域密着型金融推進計画

釧路信用金庫

## 1 . 経営理念

# 「この<sup>ま</sup>ち<sup>ち</sup>を愛し豊<sup>あ</sup>かな<sup>す</sup>未来を創造します」

これは私たちの哲学であり思想です。釧路信用金庫は、この地域の人達の相互扶助精神のもとで生まれ育まれた金融機関です。私たちは、故郷であるこの地域を心から愛し、地域の発展とそこに住む人達の心豊かな未来のために奉仕を続けることが使命であることを表しております。

## 2 . 基本方針

質の高い金融サービスの提供に努め、地域社会の繁栄に貢献します。

業績の向上に努め、健全で信頼される金庫を創ります。

確かな能力と豊かな人間性を兼ね備えた、創造的な人材を育成します。

生きがいのある職場を創り、職員の幸せと夢を育てます。

## 3 . 中期経営計画基本フレーム

名 称	「チャレンジ21」3カ年計画	
期 間	平成15年4月1日～平成18年3月31日	
基本目標	「地域社会の再生と活性化をめざして」	
趣 旨	当金庫にとって最大の経営資源は、会員・顧客・地域との関わりのなかで創業以来育んできた「信頼」である。この信頼をさらに醸成するため、収益力の強化と、徹底した地域振興により、中小企業の支援・育成や個人取引の強化を通じて地域社会の再生と活性化を図っていかねばならない。	
重点課題	収益力の強化 営業推進体制の強化 人材の育成	リスク管理体制の再構築 地域振興と地域社会への貢献 創業80周年への取組み

## 4 . 平成 17 年度事業計画

基本方針：経営力強化による信頼性向上・地域社会活性化へ機能発揮

平成 17 年度はペイオフ全面解禁・減損会計実施など、今まで経験のした事のない諸課題を前に厳しい環境にあるが、創業 80 周年の記念すべき年であり、今日あることに感謝の念をもって、地元密着の特性を活かしながら日々の業務や地域活動に取組み、100 年に向けた新たな「釧路しんきん」スタートの年としなければならない。

また、今年度は「しんきんチャレンジ 21」3 カ年計画の最終年度であり、新たに始まる金融改革プログラム実践の年でもある。

従って、中小企業の創生・再生支援や地域社会作りに積極的に関わり、地元の方々から一層の信頼を勝ち取る経営を展開していく年とする。

## 5 . リレーションシップバンキングの機能強化計画についての評価

創業・新事業支援機能等の強化における取組みでは、人材育成・職員のレベルアップを図った事など計画通りに推進しました。経営相談・支援機能の強化における取組みでは、ビジネス・マッチングや顧客組織の活用などの体制も出来上がりました。事業再生に向けた取組みでは、企業の抽出を行いました。指導実績は少数にとどまりました。中小企業金融への取組みでは、経営改善支援資金「アシスト」やスコアリングモデル融資制度「ニュービジネスローン」「釧路しんきんパートナー」を取扱い、実績を上げました。また、売掛債権担保融資保証制度の利用が着実に増加しました。ガバナンスの強化の面では、情報開示については半期開示を実施し、地域貢献に関する情報開示もディスクロージャー誌、ホームページに掲載しました。しかしながら、中小企業支援センターの活用や産学官とのネットワーク構築の取組みなどに若干対応の遅れがあります。また、企業再生の取組みにおいては、企業の自力再生に向けた経営改善指導を基本方針としました。このため、ファンドの組成検討、DES・DIPファイナンス等の手法などは研究中となっております。

2 年間の全体的な計画達成状況は、概ねスケジュール通りに進展したものと考えております。

## 6 . 推進計画の取組み

本計画の取組みに当たって、当地域の景況は依然として回復に至っておらず先行きも不透明であり、新規事業創生や事業再生にとって必ずしも良い環境とはいえませんが、地元信用金庫として地域活性化のために、より一層利用・相談しやすい窓口づくりを目指すとともに、先の強化期間における取組み結果などを踏まえた施策とする方針です。

また同時に、地元経済を預かるものの責務として、金庫自身が先ず健全であることが重要であり、その前提で地域貢献や各方面との連携も成果が得られるものと認識しております。従って、リスク管理や法令等遵守などに加え、ガバナンスについても一段の向上を図る取組みを行って、地域から一層の信頼を得られるよう努力する所存であります。

### ～ 具体的施策

#### (1) 事業再生・中小企業金融の円滑化への取組み

平成 17 年 4 月より釧路商工会議所・中小企業支援センターと連携し、「目利き力」を重視した融資制度「釧路活性化貸付」を取扱開始し、創業・新事業支援機能等の強化を図りました。

平成 17 年 10 月より「企業支援グループ」の組織強化を図り事業再生のための経営改善支援について対象先 100 先( 現行の 5 倍程 )の目標値を設定して取組みます。

また、結果については、債務者区分ランクアップ件数、再生支援に関する事例等をホームページなどで公表します。

無担保事業性資金、経営改善資金「アシスト」を、平成 16 年 2 月より既に取り扱い、平成 17 年 3 月末までに 117 件の取扱実績がありますので、これを今後 2 年間、融資枠 20 億円に拡大のうえ継続して取扱うとともに、売掛債権担保融資制度の継続的な推進や私募債の取扱いを開始し、担保・保証に過度に依存しない融資の推進に取組みます。

平成 17 年 6 月に当金庫の店舗網・顧客組織を活かした「釧路発元気企業フォーラム」を開催し、ビジネス・マッチング情報の提供を図りました。また、同年 10 月北海道信用金庫協会主催により札幌市で開催される、ビジネス・マッチングにも地元企業参加の支援を行う予定であり、今度もこのような取引先に対する経営ノウハウや情報交換機会の提供に継続して取組みます。

平成 16 年 4 月に与信取引に関する顧客への説明態勢の規則を制定しており、今後も内部で周知徹底を図りながら取組み強化を進めるとともに、目利き力向上など融資担当者の教育を継続して取組みます。

## (2) 経営力の強化への取組み

資産の過半を占める融資のリスク管理強化と適正収益確保のため、現在試行運用を行っております信用格付制度を、本計画期間のできるだけ早い段階で本格導入すべくデータベース構築に取り組んでいます。

また、有価証券などの余資運用についてもリスクの極小化策を引続き堅持しロス防止に努めるとともに、新自己資本比率規制など新たな課題についても、適切な対応を図りリスク管理と収益管理の強化に努めます。

従来から苦情を始めとする会員・顧客の意見については、常務会などに適宜報告のうえ再発防止や業務改善等に反映させておりますが、書面に残すなど明確な制度を平成 17 年度内につくり一層のガバナンス強化を図ります。

また、法令等遵守など（コンプライアンス）についても引続き徹底を図るとともに、個人情報保護管理について委員会の活用や職場内研修によって厳正管理を徹底し取引先の信頼確保を図ります。

## (3) 地域の利用者の利便性向上への取組み

当金庫は経営理念のもとで積極的に地域貢献に取り組むとともに、ディスクローズを行ってきました。今後も前広に且つより解りやすい情報開示を心がけて取り組む方針です。

また、今年度の創業 80 周年記念事業において、単に預金・貸出金のシェアだけでなく、CS（お客様満足度）についても地域 1 でありたいと役職員一丸となって運動を展開中であり、本計画期間中においてもこの姿勢を貫き通す考えです。

従って、対応マナーを始めとするCSのための研修などに継続して取り組み、具体的にお取引先のご意見・ご要望に応えるべく平成 17 年下期にアンケート調査を実施して、CS 向上に努めていく所存です。

釧路商工会議所と連携し、新規開業資金融資制度「釧路活性化貸付」を平成 17 年 4 月より取扱開始いたしました。

また、釧路市・釧路商工会議所等と連携して、「地域企業サポート研究会」を立上げ企業支援について研究中であり、今後も地元各方面との連携により地域再生推進に取り組んでいきます。